

令和2年度あしたのまち・くらじづくり活動賞 主催者賞

まちと学生がつなぎ・つながるまちづくり

神奈川県横浜市神奈川区 まち×学生プロジェクト

地元住民（自治会）と神奈川大学の学生は、身近な存在と意識をしながらも地域側は「学生のゴミ問題」「学生の騒音問題」などマイナスイメージにつながる声があり、学生には「地域の人が怖い（あまり歓迎されていない）」と伝わっていた。

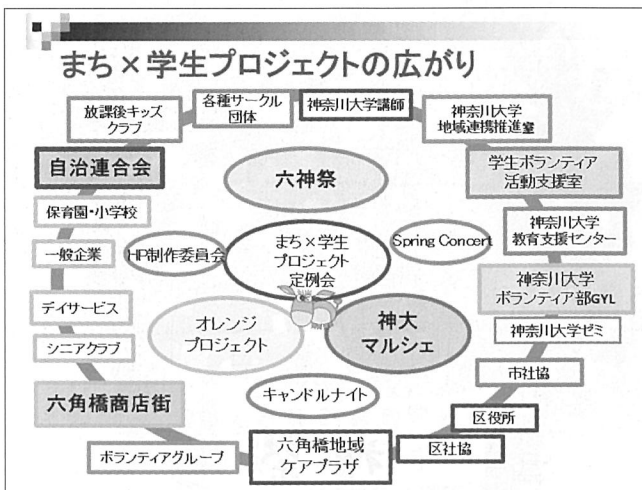
一方で「大学生の若い力が魅力」「学生のアイデアで若者と子どもたちなど多世代をつないでほしい」といった声や「地元を離れて横浜に来て、不安で地元のように街とつながりたい」といったプラスな声もあり、平成27年10月、まち（自治会）と学生が協働して「まちづくり」を考え創るプロジェクト「まち×学生プロジェクト」がスタートした。

活動をスタートするにあたり、まちと学生が協議し決めた目的・ビジョンは以下の三つ。

- 学生と地元住民が「あいさつ」し合える関係づくり
- 学生たちが考えたアイデアを応援・協力し形にできるまちづくり
- 卒業後も「戻ってきたい！住み続けたい！」と思うまちづくり

令和元年度活動実績

- 毎月定例会12回（通算・52回実施）
- ★神大マルシェ（学生生活4年間を通う神奈川区の人・物・歴史を知るマルシェ）
開催日：7月5日 参加人数800名 ボランティア65名
- ★六神祭（自治会町内会・小学生・大学生の世代間交流イベント）



【2019年現在】まち×学生プロジェクトが紡いできた地域のネットワーク



開催日：8月4日 参加人数140名 ボラ
ンティア70名

★お年寄りにやさしい街六角橋くオレンジ
プロジェクト（まち全体で取り組む認知症啓
発活動）

開催日：9月【月間イベント】参加人数：
1209名 ボランティア50名

★地域を繋ぐくキャンドルナイト2019く
（3000本の牛乳パックで作る参加型キャ
ンドルナイト）

開催日：11月29日 参加人数1800名 ボラ
ンティア150名

【その他】

○ホームカミングデー…卒業しても年に1度、



六角橋地区の魅力を伝えながら想いの詰まった「まち“SHOKU”
応援券」を手渡す商店街会長

六角橋に帰って来られる機会を創る
イベント

○社会人への門出式…まち主催の卒業
式、それを境にまち側の一員となる
等

新型コロナウイルスの影響下、
「困っている学生を助きたい」
まちSHOKU誕生！

新型コロナウイルス感染症の影響
は、地域活動や学生の課外活動にも
大きな影響を及ぼした。次々に地域活
動も自粛や中止となる中、当プロジェ
クトの定例会や恒例企画も中止となっ
た。そんな中、メディアなどでも「収
入減少・アルバイト減による学生の
生活困窮」が取り上げられ、実際に今まで付
き合ってきた学生の中からも「お米だけで一週
間過ごしている…」「授業はオンラインになり、
誰とも生で話をしない日が続いていて寂しい」
など学生からの声が聞こえた。

その声を聞いた地元自治会は「普段から付
き合いのある学生が困っている。明日の食べる
ものに心配するような学生が身近にいる。今す
ぐ動かないといけない」と立ち上がり、5年間
にわたりつないできた地域のネットワークを活
用し、全3回(約480名)の食支援を実施した。



子どもから自治会役員まで大学生がつなく世代間交流イベント「六神祭」

第2・3回目にはコロナウイルスの影響で客足
が途絶えた商店街と食で困る学生をつなぎ双
方向に支援をしようと「まちSHOKU応援
券」を提案。寄付金による500円を原資に
商店街が100円を上乗せ、さらに各店舗が
お店ごとの独自のサービスをさらに上乗せする
形で500円券(2枚)、1200円相当の「学
生の為のスペシャル応援券」を完成させ多くの
学生の手に渡った。

企画開催当日の夜に開催された学生と地域
のオンライン交流会では、「実際にボランティア



世界アルツハイマーデーに実施、学生らしく認知症啓発活動「オレンジプロジェクトの一部」

アに参加するなど、是非自分も力になりたいと思います」「人と関わる機会が減っているの
で、少しでも誰かと話せる機会があるだけで嬉
しいです」との感謝の気持ちがまちの皆さまへ
返され、このような御時世においても、まちと
学生のつながりは着実に実を結んでいる。

平時（いままでの5年間の地道なつながり）の
関係が有事に機能する！

まちSHOKUの実施には、自治会・商店街・
学生・神奈川大学・市社協・ケアプラザ・NP

〇等多くの団体が結束し実現している。今回、
誰も経験のしたことのない非常時において迅速
に「学生を救いたい」とまちが団結できたのは
5年という期間に学生たちがまちを想い、地
域の方に学生の日頃の活動を知って欲しいと開
催した「六神祭」、神奈川区の魅力をもっと学
生に知って欲しいと開催した「神大マルシェ」、
地域課題を学生の力で解決したいと動いた「オ
レンジプロジェクト」、まちの子どもからお年
寄りまで全員が楽しめる機会を創りたいと取
り組んだ「キャンドルナイト」。地道に関係を
構築し企画実施では苦楽を共にしてきた関係
があったからに他ならない。

大学生活4年間、 プロジェクトに係った学生が語る魅力

「当活動の魅力は、実際にまちづくりの先頭
を走る大人（社会人）と共に上下ではなく、一
人の大人として議論や活動を行うことだと感
じます。特に活動を通じて驚いたのは、関わる
以前には想像もしていなかった経験をさせて頂
いていることです。活動だけの付き合いではな
く、ともに過ごすことで年代や所属を越え友
情が芽生えたと思いますし、このプロジェクト
をたくさんの方に知って頂きたい。そして、多
くの学生に体験してほしいと感じています。

おわりに

5年間の活動を通じて、まちと学生の距離
感はとても身近なものになっていると感じてお
り、この地道な5年間の活動があったからこそ
「今できること」に着目し、今回の学生支援の
輪がまちとして一体感を持って取り組むことが
できたと感じています。

今後、新型コロナウイルス感染症という非
常時にも機能するつながり・関係づくりを進
めていきたい。そして、当活動が横浜市だけ
なく全国の自治会町内会等、まちづくりに携
わる皆さんの一つの事例になれば幸いです。

【運営体制・核となる構成団体】

（まち）六角橋自治連合会・六角橋商店街連合
会・地域交流活動委員会

（×（かける））横浜市六角橋地域ケアプラザ・
神奈川区社会福祉協議会

（学生）神奈川大学学生ボランティア活動支援
室・神奈川大学ボランティア部GYL

神奈川大学教育支援センター・神奈川大学地
域連携推進室

（オプザバー）神奈川区役所

（まち×学生プロジェクト事務局）
横浜市六角橋地域ケアプラザ／

地域活動交流コーディネーター 原島隆行